

Oyama

2026年1月30日
町田市立小山小学校
校長 三瓶 昌信

町田市小山町944番地
TEL 797-2733
<http://www.machida-tky.ed.jp/e-oyama/>

「察する」ということ

校長 三瓶 昌信

あっという間に1月が過ぎました。卒業まで、修了まで、残すところ30日余りとなりました。学級の仲間と過ごす日々をより有意義なものにしていきたいと考えています。特に6年生は卒業へ向けて小山小学校で過ごす最後の日々となります。「あこがれの6年生」として、学年全体としてどう過ごすのか、自分は何をするのか、改めて考えさせ、行動させたいです。古い言葉になったのかもしれません、「節目」は大切にしたいと考えます。

2月18日(水)～21日(土)に展覧会を開催します。ご多用とは存じますが、ぜひご参観ください。期間中は何度でもお越しいただき、全校の作品をご鑑賞ください。

私は、展覧会や書写展など、作品の展示だけで子供の姿が見られない行事には後ろ向きのところがありました。作品の出来栄えからその子を評価する。構図や色遣い、縫い目の大きさや曲がり具合…その子の努力が伝わらないのではないか…そんなことを考えていました。

一方で、運動会や学芸会、学習発表会や授業参観などで子供たちが一生懸命取り組む姿を見せたい、真剣な顔つき、喜びや悔しがる表情…などから感動を味わっていただきたいと強く考えていました。

ある時、先輩教員に「なにもわかっていないな！一体なにを見ているんだ」と厳しく叱られたことがあります。「子供のよさ、すごさを察する力がない、教師失格だ！」「一つの作品から、その子の姿、努力の様子を想像しろ！その成果が作品に表れているんだ！」と…。

今振り返ると、当時の私はいったい何を目指して子供たちと共に過ごしていたのか、子供たち、同僚や保護者に何を求めていたのか…恥ずかしい限りです。

それから、「察する」ということを深く考えるようになりました。

ぜひ、展覧会の子供たちの作品をご覧いただき、制作中の姿を想像し、努力や苦労を感じ取ってください。自分のお子さんの作品だけでなく、知り合いの子供たちの普段の様子を思い浮かべ、その作品をご鑑賞ください。

「察する」…おしさかる 推測する おもいやる

学校における子供たちの関わりの様子から、思いやりに欠ける場面を見かけることがあります。子供だけでなく、社会全体でもそうした場面があると感じています。ぜひ、「察すること」、思いやりの心を大切にし、やさしさあふれる小山小を目指します。ご家庭でも、話題にしていただけると幸いです。

★お願い★ 転出予定・転入情報について

転出の予定が決まりましたら、迅速にご連絡ください。また、お知合いやご近所で転入の話がありましたら、ぜひご連絡ください。次年度の学級編成にかかわってきます。よろしくお願ひします。